

余すことなく活用できる美しい三桠(みつまた)の木 みつまたオブジェ



かね井染織 株式会社

三桠(みつまた)は、樹皮の繊維が丈夫なことから、和紙、とりわけ紙幣や証券等の高級な紙の原料として知られる落葉性の花木です。近年、国産の三桠は、安価な輸入品との競合激化、和紙需要の低迷等から、産地によっては収穫されない三桠が増加し、農地の荒廃が懸念されています。「みつまたオブジェ」は、このような厳しい状況にある国産三桠の新しい魅力を発信する作品(製品)です



これまで廃棄されていた 原木の有効活用

紙幣の原料として使われる三桠の木は、これまで、剥ぎ取られた樹皮のみが造幣局に納められて、その後に残った原木は廃棄されてきました。また、原木は腐りやすく、そのままでは保存することも、活用することもできませんでした。「みつまたオブジェ」は、この廃棄される原木を、京友禅で培った技で染め上げ、商品化したものです。

京友禅の美しい染色

着物を美しく染める、「京友禅」で培った色で、和の心を鮮やかに染め上げています。また、藍染めによる癒やしや消臭効果も期待されます。

インテリアや アクセサリとして

その可愛らしい色合いと軽さで、店舗装飾はもちろん、家庭内でもちょっとしたオブジェとして利用できます。また、華道等でも、既に幅広く利用されています。



エコ・トピックス

近年、里山では、放置竹林の問題が指摘されています。放置竹林は、生長の速さ等から他の植物の生長を阻害し、結果的に里山の荒廃を招き、農作物への獣害の原因にもなります。こうした問題の解決に向けて、京都府南部地域では、竹の伐採や講演会での啓発等とともに、三桠を植樹する取組(竹・みつまたプロジェクト)が進められています。また、府内各地域では、鹿等の獣害対策の一つとして、三桠を植樹する動きも見られます。

かね井染織 株式会社

所在地/〒615-0902

京都市右京区梅津神田町30番地

TEL/075-871-2001

FAX/075-871-1070

URL/www.kanei-senshoku.co.jp

E-mail/info@kanei-senshoku.co.jp